

自然と文化科 きずきの森自然観察会 活動記録

日時	2025 年 3 月 28 日 10:00~15:00	担 当 者
場所	北雲雀きずきの森(川西能勢口→バスで萩原台下車徒歩 10 分)	文：藤原 泰子 写真：吉川 時子
備考	参加者数 1 班 16 名 2 班 13 名 3 班 13 名 4 班 12 名 実習生 5 名 合計 59 名 リーダー：全体と 2 班 遊上、1 班 山口、3 班 日下部、4 班 高原 (敬称略)	

数日前から雨の予報であったが、当日は朝方雨が残っていたものの、曇りから晴れの天気となり、暑くもなく寒くもない観察日よりとなった。今回の観察地「きずきの森」はゴルフ場だった土地を宝塚市が 2010 年に自然公園として開業したそうです。



きずき小舎で全員集合。遊上全体リーダーの説明があり、それぞれ班に分かれて実習生の紹介後、出発した。スタートしてすぐ薄ピンク色の 3 本のエドヒガンが迎えてくれ、みんな大感激！花は葉が出る前に咲き、萼筒が丸く膨らみ、有毛などの説明があった。

少し開花したソメイヨシノ、蕾のあるウワミズザクラ、若葉と花が同時に出るヤマザクラ、白い少し大きな花のオオシマザクラも咲いていて見

エドヒガン

事だった。冬芽に毛のあるソメイヨシノ・エドヒガン、無毛のヤマザクラ・オオシマザクラそれぞれの特徴を観察しな



ウワミズザクラ



オオシマザクラ



クロモジ

がら歩いていると、ニワトコの花、クロモジの黄色の花、コブシの白い花も満開でした。ニワトコは幹を煎じて小麦粉と混ぜて骨折時湿布として利用された。コブシの花被片は 6 枚で花の下に葉があった。(タムシバには葉が無い、ハクモクレンの花被片は 9 枚) しばらく歩くと斜面一面



スプリングエフェメラルのユキワリイチゲがありましたが、曇っていて開花は少なかった。晴れていたら凄かったと思う。途中



ユキワリイチゲ

オオバヤシャブシのハメオの確認、オニグルミ・カラスザンショウ・クサギの葉痕、ミヤマウグイスカグラの腺毛の観察などしながら進む。濃いピンク色のコバノミ



ヒメウズ



ヤマザクラに着生したクモラン

に着生したクモランの花がらが見られた。カスミザクラは時期的にまだ花は見られなかったが今日は色々な桜を観られて春を感じる良い観察会でした。

所感

実習生に感想を聞くと、リーダーからの一方的な説明だけでなく、みんなで色々な意見を言いながらの観察会で楽しかったと満足されたようでした。